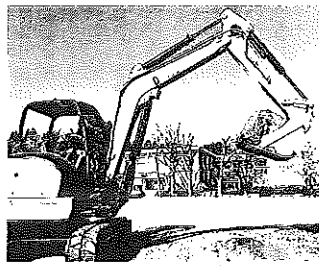


11月18日は「土木の日」

県内各地の小学校でイベント①

11月18日は「土木の日」。道路及び河川など社会資本整備の意義と重要性を認識してもらうとともに、土木技術及び土木事業に対する理解を深めてもらうことを目的として、全国各地で土木に関するイベントが開催されている。宮崎県内に於いては、県内各地区の小学校に於いて、土木に関する出前講座や重機への試乗、測量機器を用いた実習等のふれあい体験のほか、県内建設関連団体による校内の奉仕作業が実施されている。

都城地区／重機を操作して砂場の整地



都城地区の土木の日イベントは15日、都城市立江平小学校で開催された。同校の5、6年生22人を対象に、出前講座や土木のふれあい体験を行ったほか、建設関連団体が樹木の伐採や校内道路・駐車場の整地などの奉仕作業に取り組んだ。

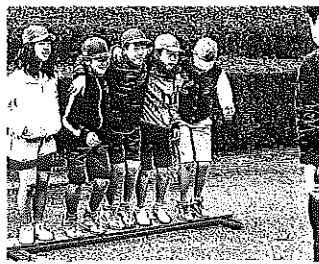
出前講座では、都城土木事務所の担当者が「土木」について説明。自然災害から人や家を守る土木という仕事の大切さや、美しい宮崎づくりに関する紹介もあった。

ふれあい体験では、模型を使った水道の仕組みの説明や測量機器を使用した距離測定、クイズ、重機の試乗体験に挑戦した。試乗体験では、担当者と生徒たちが一緒に機械を操作し、初めて触れる建設機械に大きな興奮が広がった。

校内では、参加団体が樹木の伐採や駐車場の整地などに汗を流した。同校の鶴山匡文校長は「子ども達が未来に向かって何ができるか、何をすべきかを考えるうえで、身近に体験できる絶好の機会としてありがたい」と話した。

▽参加団体Ⅱ都城土木事務所、都城市、三股町、都城地区建設業協会、宮崎県測量設計業協会都城支部、都城造園協同組合、都城管工事務協同組合、都北舗装協会。

西都地区／土木に親しみながら楽しく学ぶ



西都地区の土木の日イベントは19日、西米良村立村小小学校で行われた。全校生徒64人を対象に、土木を学ぶ出前講座やふれあい体験が催されたほか、建設関連団体の職員が多数参加し、校内の環境美化奉仕作業に汗を流した。

出前講座では、身近な構造物を紹介しながら「土木は暮らしを支える大きなものをつくる仕事」と説明。橋の強さ体験で、PC橋の素材の上を渡り、ジャンプした生徒からは、素材の丈夫さに驚きの声が上がった。ふれあいイベントでは、トータルステーションの仕組みや機能を実践型クイズに挑戦した。高所作業車に試乗した生徒は「下のぞき込んだり、友達に手を振るの気持ち楽しんだ。参加者全員で文字を作ったり、ドローンで記念撮影を行った。

校内では、建設関連団体が校門の洗浄や樹木の剪定、体育館の床の補修、花壇の整備や砂場の設置などに取り組んだ。小林博典校長は「土木に親しみながら学ぶ機会を子ども達に与えてもらった」と話した。

▽参加団体Ⅱ西都土木事務所、西都地区建設業協会、西都地区建設業協会、西都測量設計業協会、西都造園工事組合、西都電気工事協同組合、西都管工事務協同組合。

日南地区／初めて接する土木に興味津々



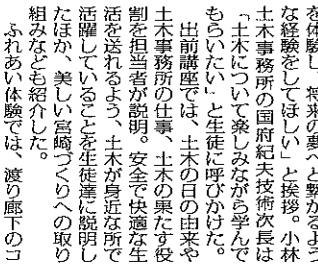
日南地区の土木の日イベントは15日、日南市立細田小学校で開催された。全校生徒26人を対象に、土木を学ぶ出前講座や橋づくり、測量体験等のふれあいイベントなどを行い、建設関連団体が校内の美化奉仕作業に汗を流した。

出前講座では、日南土木事務所の担当者が、土木の由来である「築土」の由来や、土木の重要性について説明した。生徒は「土木に興味津々」と話した。

校内では、建設関連団体が樹木の伐採や校内道路の補修などに汗を流した。同校の校長は「土木に興味津々」と話した。

▽参加団体Ⅱ日南土木事務所、日南地区建設業協会、日南地区建設業協会、日南地区測量設計業協会、日南地区造園協同組合、日南地区管工事務協同組合。

小林地区／渡り廊下の補修作業など体験



小林地区の土木の日イベントは15日、えびの市立岡元小学校で開催された。同校の3、6年生14人を対象に、出前講座やふれあい体験が行われたほか、参加した建設関連団体の職員が樹木剪定や渡り廊下の補修などの奉仕作業に取り組んだ。

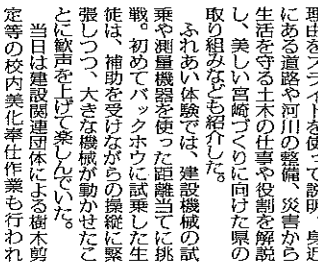
開会に先立ち、岡元小の渡邊政彦教頭は「建設業の方々の知恵や技術を体験し、将来の夢へと繋がるような経験をしてほしい」と挨拶。小林土木事務所の岡村利夫技術次長は「土木について楽しみながら学んでもらいたい」と生徒に呼びかけた。

出前講座では、土木の由来や土木事務所の仕事、土木の果たす役割を担当者が説明。安全な快適な生活を送れるよう、土木が身近な所で活躍していることを生徒達に説明したほか、美しい宮崎づくりに関するふれあい体験では、渡り廊下のこ

ンクリート補修を全員で体験したほか、造園学習で緑の大切さを学んだ。また、橋の模型作りや橋梁模型車の試乗体験、測量教室に挑戦し、土木の楽しさを大切さを肌で学んだ。

▽参加団体Ⅱ小林土木事務所、小林市、えびの市、高原町、小林地区建設業協会、西諸県測量設計業協会、小林地区造園組合。

高鍋地区／体験を通じて土木への興味深める



高鍋地区の土木の日イベントは19日、木城町立木城小学校で開催された。同校の4年生44人を対象に、学んだ役割や必要性を出前講座で学び、建設機械や測量機器を操作するふれあい体験で楽しみながら土木の技術を体験した。

出前講座では、高鍋土木事務所の担当者が11月18日が土木の日である理由をスライドを使って説明。身近にある道路や河川の整備、災害から生活を守る土木の仕事や役割を解説し、美しい宮崎づくりに向けた県の取り組みも紹介した。

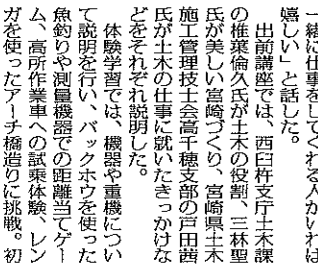
ふれあい体験では、建設機械の試乗や測量機器を使った距離測定に挑戦。初めてのバックホウに試乗した生徒は、補助を受けながらの操作に緊張しつつ、大きな機械が動かしたことに歓声を上げて楽しんでいた。

当日は建設関連団体による樹木剪定等の校内美化奉仕作業も行われ

た。参加した高鍋地区建設業協会青年部の河野幸治部長は「今日のイベントが土木や建設業の仕事に興味を持つ機会になってもらえたら嬉しい」と思いを語った。

▽参加団体Ⅱ高鍋土木事務所、高鍋地区建設業協会青年部、宮崎県測量設計業協会高鍋支部、高鍋緑心会、高鍋地区造園協同組合、高鍋管工事務協同組合。

西臼杵地区／レングでアーチ橋造りに挑戦



西臼杵地区の土木の日イベントは16日、日之影町立日之影小学校で開催された。全校生徒34人を対象に土木のふれあい体験を行い、参加した生徒達はイベントを通じて土木に対する理解と興味を深めた。

挨拶で西臼杵支庁土木課の迫節夫課長は「楽しみながら土木の仕事を知ってもらいたい。将来、私達と一緒に仕事をしてくれる人がいれば嬉しい」と話した。

出前講座では、西臼杵支庁土木課の椎葉倫久氏が土木の役割、三林聖氏が美しい宮崎づくり、宮崎県土木施工管理技士会高千穂支部の戸田西氏が土木の仕事に就いたきっかけなどをそれぞれ説明した。

体験学習では、機器や重機について説明を行い、バックホウを使った魚釣りや測量機器での距離測定に挑戦。高所作業車への試乗体験、レングを使ったアーチ橋造りに挑戦。初

めて触れる重機や機器に興味を示し、楽しみながら土木を学んだ。参加した生徒は「舗装の話は聞いて勉強になった。皆さんは高い所で仕事をされていて凄いと思う」と話した。

▽参加団体Ⅱ西臼杵支庁、宮崎県土木施工管理技士会高千穂支部。

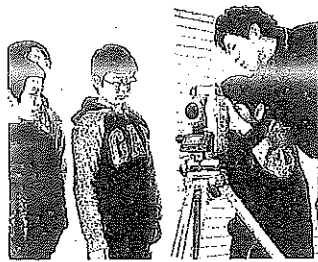
11月18日は「土木の日」

県内各地の小学校でイベント③

延岡地区の土木の日イベントは12月11日、延岡市立西小学校で開催された。同校の5年生30人を対象に、出前講座やふれあい体験を行った。出前講座では、延岡市役所の担当者がマシナリを説明し、自然災害から命を守るためのマシナリが、自然災害から命を守るためのマシナリであること、延岡土木事務所が、美しい宮崎づくりに向けた県の取り組みを説明した。

延岡地区建設業協会青年部、建設業の仕事の内容を紹介し、道路・橋・堤防・ダム・トンネル、土木・道等の生活の基盤を造る、整備・維持する仕事であることを説明した。子ども達は真剣な眼差しで担当者の説明に聞き入っていた。

雨天のため、予定を変更して行われたふれあい体験では、3つの班に分かれて測量機器を使った距離や高さの測定に挑戦。このほか、ドローン



延岡地区の土木の日イベントは12月7日、宮崎市立池内小学校で開催された。同校の5年生約50人を対象に出前講座やふれあい体験を行い、楽しみながら土木の魅力を知った。

出前講座では、宮崎土木事務所の担当者が11月18日が土木の日である理由や土木の仕事の説明、宮崎市の担当者は、架け替え中の小戸之橋の

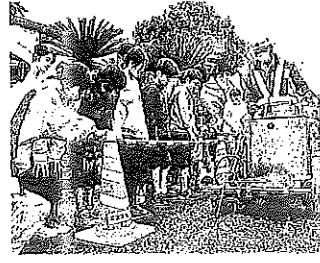
幅員が現在の2倍になることや工事の進み具合を説明した。建設技術センターの担当者は、自分の体験談を披露し、「将来の仕事を選ぶ時に建設業を思い出してください」と話した。

ふれあい体験では、レンガや砂を使ったアーチ構造に挑戦し、完成させた橋を真実な姿に作り直した。測量機器を使った距離測定ゲームでは、正解した生徒から賞品が当たった。

高所作業車の試乗体験では、作業台から友達に手を振るなどして楽しんだ。生徒達はこのほか、校内のライン標示を引き直す作業の模様を見学し、定着したラインを触るなどしてその感触を確かめていた。

▽参加団体：宮崎土木事務所、中部港湾事務所、建設技術センター、宮崎市、宮崎地区建設業協会、宮崎県測量設計業協会、宮崎県造園緑地協会、宮崎支部、日本造園建設業協会、宮崎支部、宮崎安全施設事業協同組合、

11月18日は「土木の日」。道路及び河川など社会資本整備の意義と重要性を認識してもらうとともに、土木技術及び土木事業に対する理解を深めてもらうことを目的として、全国各地で土木に関するイベントが開催されている。宮崎県内に於いては、県内各地区の小学校に於いて、土木に関する出前講座や重機への試乗、測量機器を用いた実習等のふれあい体験のほか、県内建設関連団体による校内の奉仕作業が実施されている。



宮崎地区／校内ラインの設置作業を見学

延岡地区の土木の日イベントは12月11日、延岡市立西小学校で開催された。同校の5年生30人を対象に出前講座やふれあい体験を行った。出前講座では、延岡市役所の担当者がマシナリを説明し、自然災害から命を守るためのマシナリが、自然災害から命を守るためのマシナリであること、延岡土木事務所が、美しい宮崎づくりに向けた県の取り組みを説明した。

延岡地区建設業協会青年部、建設業の仕事の内容を紹介し、道路・橋・堤防・ダム・トンネル、土木・道等の生活の基盤を造る、整備・維持する仕事であることを説明した。子ども達は真剣な眼差しで担当者の説明に聞き入っていた。

雨天のため、予定を変更して行われたふれあい体験では、3つの班に分かれて測量機器を使った距離や高さの測定に挑戦。このほか、ドローン

幅員が現在の2倍になることや工事の進み具合を説明した。建設技術センターの担当者は、自分の体験談を披露し、「将来の仕事を選ぶ時に建設業を思い出してください」と話した。

ふれあい体験では、レンガや砂を使ったアーチ構造に挑戦し、完成させた橋を真実な姿に作り直した。測量機器を使った距離測定ゲームでは、正解した生徒から賞品が当たった。

高所作業車の試乗体験では、作業台から友達に手を振るなどして楽しんだ。生徒達はこのほか、校内のライン標示を引き直す作業の模様を見学し、定着したラインを触るなどしてその感触を確かめていた。

▽参加団体：宮崎土木事務所、中部港湾事務所、建設技術センター、宮崎市、宮崎地区建設業協会、宮崎県測量設計業協会、宮崎県造園緑地協会、宮崎支部、日本造園建設業協会、宮崎支部、宮崎安全施設事業協同組合、